

農

Sports!

農

Life!

9

太極拳と聞いて、中国の公園などで住民が優雅に披露する光景を思い描く人もいるのではない。演武の技術水準を評価する競技としても国内で親しまれており、綾瀬市太極拳協会の綾瀬チームは、ねりんピックで過去2度の準優勝を果たすなど実力者がそろっている。

綾瀬チームのメンバーでもある同協会の鈴木紘之会長は「動作がゆっくりな分、身体への負荷が大きい。初心者なら全身が筋肉痛になります」と話す。

バランスを取りながら左右の手足をそれぞれに動かすため、頭も使うという。市内の地域包括支援センターの要請を受けて介護予防に太極拳を教えることもあるという。

監督を務める斎藤マチ子さんは「メンバーが心を一つにして決まった演技を正しく競技時間4分の中で合わせるのが難しい」と明かす。演技の始動や切り替えと音楽を合わせるべく、週1回2時間の合同練習に集中する。今年11月、県内で開かれた「ねりんピック」に出場。これまでも同大会で5度の入賞を果たしており、今年も上位入賞を目指したが、結果は10位・優秀賞。「また次回に向け、楽しく一体となって練習しようとしたな絆が生まれました」と鈴木会長は手応えを感じていた。背筋がピンと伸び、老いを感じさせない選手の動きを支えるのは、ブロッコリーや高座豚など、地元の農畜産物。調達先として、JA直売所を挙げる。「鮮度が抜群で、持ちがいい」「野菜に生産者が記名されているので、お気に入りの生産者を見つけ購入している」と口にする選手たち。JAグループ神奈川から県産小麦やタマネギを使用した「農協直売所クリームシチュー」が贈られると表情を崩し、一緒に煮込む野菜を思い描いていた。



JA直売所で販売中!

JAグループ神奈川は、神奈川のアスリートを応援しています。



綾瀬チーム